

21 世紀 COE プログラムの研究促進効果の実証分析

依田高典^a, 福澤尚美^b

要約

大学研究者への日本政府による大型競争的研究資金である 21 世紀 COE プログラムにより、どれだけ研究が促進されたのかを、個別研究者の論文数と 1 論文あたり被引用数を成果指標として Difference-in-differences 推定量により実証分析した。その結果、生命科学分野、人文科学分野、医学系分野、機械・土木・その他工学分野では論文数で正に有意な増加効果が得られた。さらに、生命科学分野、情報・電気・電子分野、医学系分野では被引用数で正に有意な増加効果が得られた。本分析から、このプログラムにより概ね研究が促進されたと評価出来る。また、推定結果をピアレビューと比較した結果、相違がみられた。分野により研究の特性が異なるため、ピアレビューのみならず定量的な分析との併用が研究評価の手法として望ましいと考える。

Keywords: Research assessment; Difference-in-differences; Government grants; University research; Bibliometrics; Peer review

^a 京都大学大学院経済学研究科教授. e-mail: ida@econ.kyoto-u.ac.jp

^b 京都大学大学院経済学研究科博士課程. e-mail: fukuzawa.naomi.62w@st.kyoto-u.ac.jp